

令和4年度 延岡市立西小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ期待通り 2・・・やや期待を下回る 1・・・改善を要する

本年度の重点目標

○学びづくり（よく勉強する子）【知】・・・めあてを持って主体的に学び続ける子どもを育てます。

○心づくり（仲良く助け合う子）【徳】・・・自分のよさを知り、互いに認め合い主体的にかかわりを持つようとする子どもを育てます。

○体づくり（がんばりぬく子）【体】・・・体（命）を大切に、主体的に健康づくりに努める子どもを育てます。

評価項目：学びづくり ◎ めあてを持って主体的に学び続ける子どもを育てる。

具体的な取組	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
<p>ア 学びの継続性を重視した指導計画を立案するとともに学び方を習得させることで主体的な学習が進められるようにする。</p>	<p>○ 多くの職員が、学習の工夫や支援を行ってきた。また、わかる授業づくりに努めてきた。加えて、ICTを活用した学習も行ってきた。</p> <p>● 学び方の習得には努めてきたが、主体的な学習の取組については、個人差がある。</p> <p>☆ 個別指導の時間を確保し、学年の実態に応じて、継続して指導していく。</p>	3	3.2	<p>○ 先生方は大変頑張っておられると思います。子どもたちも同じと思います。</p> <p>○ 個別指導については範囲内でよろしくお願ひします。</p> <p>○ 指導計画に基づいて主体的な学習が進められています。学び方の習得は個人差があり、取組については実態に応じた工夫が必要と思います。</p> <p>○ 前向きに進めようという態度に期待します。多忙な中でのやり方は大変かと思いますが、OJT等での技術向上は大切と考えます。頑張ってください。</p> <p>○ 授業では、先生方の工夫が観じられました。タブレットを使用することで、ICTに親しむこともできたのではないのでしょうか。</p>
<p>イ 教師は、責任を自覚し、教材研究、指導技術の向上に努める。</p>	<p>○ 研究授業や見せ合いワーク等でお互いに授業を見せ合うことにより、指導技術の向上に努めてきた。</p> <p>● 勤務時間内で教材研究の時間確保が難しい。</p> <p>☆ OJT を活用してお互いの指導技術の向上に努めていく。</p>	3	3.4	<p>○ 西小の子どもたちは総じて伸び伸びとして成績も定評があると伺っています。</p> <p>○ OJTやOFF-JTを組み合わせながらお互いの指導技術の向上に努めていただくようお願ひします。</p> <p>○ 教師は責任を持って各授業で見せ合うことで指導技術の向上に努めておられるようです。</p> <p>○ 限られた時間の中で、よく子どもたちと向き合っているなど感じています。</p>

<p>ウ 日々の授業の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力の確かな定着のため、到達目標を設定し、その実現に向け指導の徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定着率 80%目標 ・ 45 分の授業に全力を注ぐ ○ 「分かる・できる」楽しさを実感できる授業を通して、児童の意欲と喜びをもたせる学習指導に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 + 4 のチェックポイントに基づいた授業構築 ・ 文章を速く正確に読み取る力の育成 ○ 蔭山メソッドを確実に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全漢字練習 ・ 音読・百マス計算 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力の定着については、45 分の授業に全力を注いで務めた。 ● 学力の二極化がみられる。下位の児童への個別指導の時間があまりとれなかった。 ☆ 授業中に、下位の児童への声掛けや支援、見届けを必ず行う。引き続き時間を見つけ、個別指導を行っていく。 ○ 「分かる・できる」楽しさを実感できる授業を目指し、4 + 4 のチェックポイントを意識しながら授業に努めてきた。 ● 文章を早く正確に読み取る力の育成については、まだ十分ではない。 ☆ 授業の中で意識して、文章を速く正確に読み取る場所を設定し、継続して指導していく。また、宿題などを通して、言葉について習熟を図っていく。 ○ 音読・百マス計算を週に 2 ~ 3 回実施した。全漢字は宿題などを通して、年間を通して習熟を図ることができた。 ● 校時程の変化もあり、昨年度よりも十分に取り組むことができなかった。 ☆ 朝のぐんぐんタイムで、確実に取り組んでいく。 	2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力ほど大事なものはないと信じます。時間の制限の中、いろいろ厳しいものがあると思います。上位、下位の基礎はレベルも多少違うと思いますが、それぞれのレベルアップは、私も楽しさと思います。子どもたちをたくさんほめてあげてください。 ○ 基礎学力の定着について到達目標を設定し、限られた授業時間内で目標達成に努力されている。下位の児童への個別指導は特に工夫して取り組む必要があると思います。 ○ 「分かる・できる」は年代により個人差が大きいと思います。落ちこぼれないように努力する必要があります。 ○ 文章を速く正確に読み取る力は、本人の能力、興味、楽しさによって向上すると思います。その子の意欲をどう見付け、どう導いていくかによると思います。 ○ 本人の努力、興味、意欲をどう評価するか、意欲がなぜ出てこないか、その子の裏にあるものを見付け、誉め、教えることが大事だと思います。 ○ 問題点を十分に把握して前向きに進めようとしており期待します。 ○ 中学校では「はげまし隊」が数学の授業を通して生徒にやる気をもたせるよう努力しており、効果も出ています。 ○ 学校だけでの学習では、どうしても個人差が大きくなりますよね。学校・家庭等と協力しながら、学習の楽しさや喜びを体感してもらいたいですね。
<p>エ 読書指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西小・ザ・30 や家読の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 回覧図書や図書館祭り、なかよし読書に取り組む等、読書に対する意欲を高めることができた。 ● 行事として取り組んでいる時期に関しては、児童の読書への意欲は高まっているが、それ以外の時期は読書習慣に差がみられる。 ☆ 回覧図書やノーメディア等、家庭への啓発を行い、教師・児童・家庭が一体となって読書活動を進めていく。 	2	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現役の大学生も以前に比べると読む冊数が非常に少ないと聞いています。読む楽しさを味わってほしいと思います。国語力は全科目に通じるものがあると思います。 ○ 保護者に頑張ってもらいたい。 ○ 読書は、興味、関心、周囲（友人や家族等）との関わりにより伸ばされると思います。個人の差も大きいと思います。一人一人の個性を見付けて伸ばしていったら良いと思います。 ○ 具体的な進め方を工夫してください。 ○ 読書により文章の理解力を伸ばすことに期待します。 ○ 家庭での読書習慣には差が見られる。このことについては永遠の課題かもしれない。 ○ メディアや ICT と上手に付き合いながら、本に慣れ親しむ習慣をつけてほしいですね。

<p>オ 特別支援教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の支援ファイルや個別の指導計画をもとに、学級担任と連携して支援の充実を図ることができた。 ● 支援が必要な児童が数名おり、細やかな指導に努めてきたが、行き届かないこともあった。 ☆ 特性に応じた合理的配慮の研修や情報の共有等、各学級担任がさらに特別支援教育についての理解を深めて指導にあたる。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数少ない参観の折、担当の先生が子どもに寄り添っている姿をよく見かけます。これからも是非是非よろしくをお願いします。 ○ 特別支援教育は極めて難しいものと思います。その子一人一人の生育歴、病歴、家庭環境（親子関係）によって、その子の能力、行動、対人関係が個々人異なります。その子の発達と能力、生き方、行動の目標を見付けて関わっていくことが大事だと思います。学校と家庭が一体となって関わっていくことが大事だと思います。難しいですね。 ○ 色々難しい問題もあると思いますが、児童の良いところを伸ばしていってください。 ○ 個性や特性に応じた工夫や対応は本当に骨の折れる作業だと思いますが、その分、その生徒を理解することにもつながっていると思います。
<p>カ キャリア教育の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の職業や生活への夢をもたせ、学ぶことや生きること、働くことの尊さを実感させる教育を進め、学ぶ意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度のキャリアパスポートを活用し、見通しを持たせたり振り返りをさせたりすることができた。 ● 具体的な現場を見学に行く等の活動はできなかった。 ☆ キャリア教育で活用できる人材を明確にするためにリストアップしていく。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育は、中学高校は実践していると思いますが、小学校も同じなんですね。大変だと思います。キャリアパスポートはどういうことかよく分かりません。子どもたちは、遠足・修学旅行等でキャリア教育を受けていると思います。 ○ キャリア教育の推進は、個々人によってその子の能力、発達段階、生育歴、家庭環境（家族関係）等によって設定が難しいと思います。夢、目標、課題設定、達成のための行動・活動について教師と児童が一体となって楽しく、意欲を持ちながら進めていくことでしょう。 ○ 我々にも色々相談してください。 ○ 将来の目標が見つかり、学習をはじめ様々なモチベーションの向上にもつながると思います。学校生活や家庭生活も変わるのではないのでしょうか。子どもたちは無限の可能性を秘めています。いろんなことが体験できる機会の提供を期待します。

評価項目：心づくり

◎ 自分のよさを知り、互いに認め合い主体的にかかわりを持つようとする子どもを育てる。

具体的な取組	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
<p>ア 児童相互、児童と教師の信頼関係を基盤とした学級づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の3機能を生かした指導 ・見届ける教育 ・機を逃さない教育相談や家庭訪問の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育相談の時間を活用して、信頼関係を築くことができた。 ○ 問題が起きたときに、双方の話を聞き解決に努められた。 ○ 気になる児童の保護者とも連携を取りながら実態を伝えられた。 ● 気になる児童の様子を職員全体で把握できる機会が増えるとよかった。 ☆ ケース会を開く程度の児童の共有を職員会でするとよいのではないか。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話を保ちながら信頼関係は大切なことであると思います。 ○ ケース会を開く程度の児童はもちろんのこと、それ以外の児童も含めて、定期、臨時に職員会を通して思うままの意見も必要では。 ○ 児童との信頼の在り方は「その子があるがままに受け入れること」から始まります。色々な行動、活動、意欲の違いは、その子の「能力、生育歴、家族関係」から出てきます。その子の行動、態度の「裏にあるもの」を見付け、その子が安心、安全であること、自分を理解し認めてくれる先生との繋がりが大事だと思います。 ○ 難しいことですが、大切なことです。学校全体で共有することは良いことと思います。 ○ 素晴らしい成果と改善策だと思います。 ○ 児童ひいては家庭にも寄り添って対応いただいていると思います。
<p>イ 基本的な生活習慣の確立を図り、生活の基本づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小よい子のくらしの徹底 ・「西っ子よい子の合言葉（むすみもち）」の定着 ・一貫した指導の充実（幼保小連携、小1～小6、小中連携） ・恒中校区「3つの約束」（進んであいさつ、無言清掃、チャイム黙想・立腰） ・家庭との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 恒中ブロックでの、共通実践「3つの約束」については、取り組むことができているが、十分ではない。3つとも継続して指導していく。 ● 恒中が求める基礎的な学力や態度を小学校入学時点で周知していくことが必要だと話題になったが、実践までは至っていない。 ☆ P T A総会の時に保護者に伝えるとよいのではないか。 ○ P T A活動等が実施されない状況ではあるが、学担を中心に家庭との密な連絡を取り合うことができた。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの生活習慣はよくできていると思います。生活習慣の是々非々は家庭とも直結しており、保護者にウエイトがあると思います。 ○ 基本的な生活習慣は、生活歴、家庭環境（経済的状況）によっても違います。学校で生徒全員が獲得する必要のある基本的な生活習慣を個々の状態に応じて習得させる必要があると思います。 ○ 学年、能力、生育歴によって個々違っているので、良い習慣は人にも喜ばれること、友人他人との人間関係が良くなり、楽しい生活が実感できるようになることが大事だと思います。家庭との連携が大事だと思います。 ○ 小学校の段階で嫌い（苦手）な教科ができるようです。南方小や南方中、北方学園等では、小学校に「はげまし隊」が入って効果を上げているところもあります。 ○ 幼保小中のさらなる連携、共通した実践を期待します。

<p>ウ 交流学习の推進を図り、共に活動する機会を設け、かけがえのない仲間として互いに協力し合う態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美しいことば」の実践 ・ボランティア活動の充実 ・異学年交流班清掃による校舎、校庭の清掃美化の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 縦割りの清掃ができるようになり、異学年で教え合う姿も見られた。 ● 無言清掃がもう少しである。 ☆ 継続的な指導を行っていく。 ○ 給食指導で異学年の交流がよかった。 ● 朝の「美しい言葉」を聞き流している児童がいるので、今後の放送を継続するのか要検討 ○ 下学年のお世話をする上級生の姿や、石拾いを積極的にする児童の姿が見られた。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会が求めるものは、協調性や人の話を聴く力等であると思います。今後も交流学习の推進をお願いします。 ○ 交流学习は、自分と他人と違い、共通の学び合い、遊ぶことの楽しさといった対人関係を培う上で大事なものであると思います。特に異年齢児との交流は、他人を大事にすること、思いやり助け合うことの大事なことを学ぶチャンスだと思います。この行動ができない子、仲間外れになっている子への指導が大事だと思います。 ○ 比較的少ない児童数だからこそ、異学年交流でより児童間の絆が深まったと思います。
<p>エ 道徳教育及び人権教育の充実を図ること、豊かな心づくりの基盤とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は、LGBT の研修を行った。今後の児童の多様性を考えると、必要な内容だった。 ○ 道徳や学級活動の授業および日常の学校生活の中で、人権意識を育てられるような関わりを行った。 ○ 人権週間と人権月間の中で、命を大切にする授業の取り組みと、人権に関する授業および標語を作成する活動で意識を高めた。 	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会が多様化していく中、道徳教育、人権教育はますます重要であると思います。よろしくご指導願います。 ○ 道徳教育、人権教育は、人の生命、人の心を守り、尊重するという人間の生活上最も大事なことだと思います。人の苦しさ、悲しさ等思いやる心をどう育てるかということは難しいことですが、家庭・近隣と一体となって取り組むことが大事だと思います。人に喜んでもらうことは嬉しいことだ、人を助ける思いやり、ボランティア等の心を育てていただきたいです。 ○ 大切な教育です。これからもよろしく願います。 ○ 多様性や個性を認め合うことの大切さを説くのは、とても大切なことだと思います。一方で協調性を養っていくことも大事ですね。子どもは子どもならではの精神的ストレスを感じています。命の大切さについては、常日頃からご指導いただけたら幸いです。

評価項目：体づくり

◎ 体（命）を大切にし、主体的に健康づくりに努める子どもを育てる。

具体的な取組	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
<p>ア 児童の健康管理や健康の保持に努め、学校生活の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ご飯の習慣化 ・正しい姿勢 ・立腰指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常時、立腰指導を各クラスで行っている。 ● 午前中5時間の場合に、朝ごはんを十分に食べてこない子どもがいる。 ● 登校しぶりによる欠席が数名いる。 ☆ 通信等を利用して、学校から朝ごはんをしっかりと食べさせるように呼びかける。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動くことが基本である子どもたちの中に、朝食を十分に食べてこない子どもがいることは残念です。能動的な働きかけを是非お願いします。 ○ 児童の健康管理や健康保持は命を守る基本です。子どもの成育歴、家庭環境の理解も大事と思います。一日の中での食生活を始めたとした基本的な生活習慣の習得と運動や正しい姿勢立位等の指導を家庭と一体となっていくことが必要と思います。特に今流行している新型コロナウイルス感染症の予防と罹患した場合とその対応は、医療機関と家庭との理解と一体となった対応が必要と思います。 ○ 身体の不調は心の不調にもつながります。引き続き家庭と協力しながら健康管理指導をよろしく願っています。
<p>イ 体力向上プランを生かし、児童一人一人の体力に応じた、体力づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の指導の充実 ・体力向上カルテ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランで昨年の課題だった項目に伸びがみられた。運動不足が徐々に解消されてきた。 ● 体育関係の備品が少ない。 ☆ 注文できる額に限度はあるが、毎年要望をする。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年の冬は例年になく厳しい寒さが続きますが、運動場で子どもたちの元気な姿を見るとほっこりします。先生方も大変かと思いますが、子どもたちに負けないように頑張ってください。 ○ 体力向上は、健康維持・向上の基本だと思います。日常的な歩く走ることから、運動やクラブ活動等その子の体力に合った活動が求められます。家庭での食生活にも大きく左右されるので、学校給食と家庭での食生活の向上が求められると思います。 ○ 世の中では小中学生の体力低下が指摘されており、本校の取組は素晴らしいです。 ○ コロナ禍でめっきり体を動かす機会が減りました。これからの体作りのためにも、引き続き運動機会の提供をお願いいたします。

<p>ウ 食に関する指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進 ・給食指導の充実 ・弁当の日の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食感謝週間の掲示を行った。様々な人が携わってくれていることを理解する良い機会になった。 ○ 残食が減った。 ○ 引き続き、お弁当の日を実施する。家庭環境の差に配慮して、継続は行わない。 ☆ 弁当の日、実施の仕方を要検討。 体育部としては…夏休みの「弁当の日」をなくす。3月のお別れ遠足での「弁当の日」は実施する。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の交差点で、子どもたちに給食はおいしいか聞くと「おいしい」と返事します。食べ物に対する感謝は大事だと思います。 ○ 学校給食は日常生活の基本だと思います。おいしく食べる・楽しく食べること、食べ方や飲み方、後片付け等も大事だと思います。新型コロナウイルス感染症で学校給食の在り方について大きな制限が求められ、本来の給食の楽しさが失われてきました。こんな中で色々工夫して、給食の楽しさ、おいしさ、大事さを作り直してください。 ○ 地産地消を利用した給食は良かったと思います。社会科学習にもつながったとも思います。
<p>エ 性に関する教育や道徳教育との関連で命を大切にす教育の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「性に関する教育」を学年や学級の実態に応じて、養護教諭と連携して授業を行った。 ☆ 来年度、授業計画を充実させて養護教諭と積極的に連携していく。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ このことは学校に依存するだけではなく、家庭や自治体、国が積極的に動く必要があると思います。多分、諸外国では実施しているのでは。 ○ 性に関する教育は大変難しい分野だと思います。低学年と高学年では身体や精神の発達も大きく違い、個人的にも差違があると思います。児童の理解力に応じた教育が必要と思います。保護者の理解と協力も必要と思います。 ○ デリケートな内容だとは思いますが、成長において避けては通れない授業です。引き続きよろしくお願いたします。
<p>オ 安心・安全な学校生活を送るための施設・設備の安全管理と安全教育の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検の定期的な実施と迅速な改善 ・避難訓練による避難経路及び避難の仕方の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全点検は、定期的の実施し、不備な箇所については迅速に対応できた。 ○ 避難訓練は、計画通り実施できた。高台への避難を毎年実施していく。3階への避難についてもマニュアルを作成し、いつでも誰でも活用できるようにしておく。 	4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都大学防災研究所宮崎観測所の発表では、江戸時代1662年の地震ではM8級の可能性が示されました。近い将来に発生すると思われる巨大地震に備える必要があると思います。 ○ 事故やけがの防止、自転車や自動車等による交通事故防止、台風や水害、地震、津波等の自然災害等による被害者にならないよう、学校等での安全教育、講話、避難訓練等の実施、家庭や地域との連携等、日常的に認識行動をとることが大事だと思います。 ○ コロナ禍で難しいとは思いますが、地区（恒富社協）との合同防災訓練をやってほしい。これまで何回も行った経験がある。 ○ こまめに点検していただくことで、子どもたちも安心して学校生活を送れたことと思います。

評価項目：地域とともにある学校づくり

◎ 地域の実態や特性を生かし、児童を学校・家庭・地域が共に育てるための連携強化を推進する。

具体的な取組	学校の自己評価コメント（○成果、●課題、☆改善策）	自己評定	学校関係者評定	○学校関係者評価コメント
<p>ア 学校参観、学級懇談会、家庭教育学級等の充実を図る。</p>	<p>○ 学校参観、学級懇談はできる範囲で行うことができた。 ● 参観率は高かったが、懇談率が低い月もあった。 ☆ 参観率アップのために、児童の様子がよく分かる物の提示や保護者の要望を取り入れるなど、魅力ある内容となるよう工夫する。</p>	<p>3</p>	<p>3.3</p>	<p>○ コロナ禍で心配でしたが、実施できて良かったと思います。 ○ 保護者に限らず、地域の人も参加すると子どもの励みになるのでは。 ○ この分野においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校行事（学校参観、発表会、児童との交流、運動会等）に参加する機会が少なかったようです。早く新型コロナウイルス感染症が終息することを祈っています。 ○ 懇談会において、日頃の子どもたちの様子をスライドを用いて拝見したこともありました。先生方の手間は大変だったことだろうと思います。</p>
<p>イ 開かれた学校・学級づくりのために積極的な情報の発信と受信に努める。 ・情報の共有化</p>	<p>○ 必要な情報はメールや通信、ホームページで情報の発信に努めることができた。 ☆ ホームページに学校の情報や児童の様子が分かる情報を掲載し、閲覧を呼びかける。</p>	<p>3</p>	<p>3.3</p>	<p>○ これからもよろしくお願いします。 ○ この分野においては、メールや通信、ホームページ等で情報発信され、特に家庭との交流はよくなされていると思います。 ○ おそらくホームページで日頃の様子や行事をアップしていただいていると思います。学校からのメール等を活用し、アップした旨を教えていただけると閲覧者も増えるのではないのでしょうか。ホームページの存在を知らない保護者もおられるのでは？</p>
<p>ウ 地域の人的・物的教育資源を積極的に活用する。</p>	<p>○ 総合的な学習の時間の中で、3年生の玉ネギ作り、5年生の盲導犬との交流、5・6年生の「子どもたちに伝えたいこと」など、コロナ対策を行った上で実施することができた。 ○ 遠足は当初の計画通り実施することができた。 ☆ コロナ禍でも実施できるよう資源をリストアップしておく。</p>	<p>3</p>	<p>3.5</p>	<p>○ 今後も積極的な活用をお願いします。いろいろな事でコミュニケーションを保つことは大切と思います。 ○ 地域の人的・物的教育資源の活用については、この地域には色々と沢山あると思います。必要に応じて取り組んでおられると思います。新型コロナウイルス感染症が収まりつつあります。今後更に活動を展開してってください。 ○ インフォーマルな資源を活用することで、地域をより身近に感じる事ができたのではと思います。</p>

<p>エ 学校評価を通して、教育活動や学校経営の工夫・改善を進め、保護者や地域社会からの信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>○ 学校評価アンケートの声を生かして改善に努めている。 ● 更に改善の余地がある。 ☆ 一人一人の意見を真摯に受け止め、積極的に工夫・改善に努めていきたい。</p>	<p>2</p>	<p>3.3</p>	<p>○ よろしくお願ひします。 ○ 西小は市内でも地域との交流も積極的に進められており、良い学校と評価されています。安心・安全、健康で生き生きと積極的・意欲的な児童の育成に努めてください。 ○ 継続して取り組んでいただけたらと思います。</p>
<p>オ コミュニティ・スクールの推進を図り、学校運営協議会等の基礎づくりに努める。</p>	<p>○ ボランティア集会等を実施し、お世話になっている地域の方々にお礼を伝えることができた。 ● 新型コロナの影響で、地域の方々との十分な協議を行うことができなかった。 ☆ コミュニティ・スクールの充実をしっかりと図っていきたい。</p>	<p>2</p>	<p>2.5</p>	<p>○ 学校・保護者・地域の連携は必要と思います。一同に会して、項目ごとにミーティングするのも良いのでは。保護者の問題点、地域の問題点もあるのではと思います。 ○ コミュニティ・スクールはこれからの課題だと思います。新型コロナウイルス感染症拡大の今、大きな活動の制限があります。地域には多種多様な人的・物的社会資源があります。色々工夫して積極的に取り組んでください。 ○ 地域の人的・物的教育資源等を通して、より地域とつながっていけたら良いですね。</p>